



児童が自分の課題に気付いて主体的に運動するための視覚的支援の実践
「タブレット端末を使用したマット運動での技（わざ）の振り返り」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校・小学部
	障がい名等	知的障がい
	子どもの実態 (学习上又は生活上の困難さ等)	<ul style="list-style-type: none"> 言葉による指示を聞いて活動することが概ねできる。 運動の経験が少なく、足首や膝等が動かしにくいことがある。 教師の支援を受けたり、教師の模倣をしたりしながら運動することができる。
授業について (教材・教具を使用した授業や指導場面)	教科名等	体育科
	単元(題材)名	「マット運動をしよう！」
	単元(題材)の概要	器械運動の中で主にマット運動を取り上げ、能力別にグループ編成して実態に応じた課題設定をして行った。手のつき方や、足の運び方等技のポイントを教師の示範や写真カードだけではなく、実際の映像で伝えることで児童が体の動かし方に気付き、主体的に動かせるようにした。
教材・教具・支援機器について	教材・教具 ・支援機器	<p>【名称】 i p a d (タブレット端末)</p> <p>【使い方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童がマットの上で運動する様子を動画で撮影し、その場で見せる。 児童に事前に伝えた技のポイントを意識することができたかを該当児童だけではなく、同じグループの児童とも共有する。 「手をつく位置」「腕で体を支えているか」等、技の完成度を確認する際に一時停止したり、戻したりしながら見る。 <p>【画像】</p>  <p>【活動の様子】</p> 
	ねらい・工夫点等	<p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の行った技を自分で見たり友達と見合ったりすることで課題である技のポイントに気付いたり、次に気を付けることを確認しあったりする。 児童の映像を撮り貯めることで、児童の変容や指導のポイントを教師間でも共有する。
	材料・作成方法等	<ul style="list-style-type: none"> タブレット端末の写真アプリを使用する。 グループごとの学習で同じタブレット端末を複数使用する場合には、「A i r D r o p」というアプリを使用し、撮影した映像や画像を共有することもできる。
子どもの変容や評価	<p>これまででは技のポイントを写真カードや教師の示範をもとに提示したり振り返ったりしていたが、実際に動画を撮影し、その場で運動の様子を振り返ることで、すぐに技のポイントを体で覚えることができた。また、児童同士で振り返ることで、細かい体の動きも見て指摘しあう様子も見られ、主体的にマット運動をすることができた。教師間でタブレット端末をどのように使って指導するのかをポイントを絞って共通理解すると、さらに充実した活用になると感じた。</p>	